

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	法人全体での「身体的拘束等適正化検討委員会」のメンバーに管理者がなっており、参加し理解を深めているが、グループホーム職員全体への周知や身体拘束をしないという意識や知識の向上を図らなければならない。	身体拘束の具体的な行為や弊害について職員一人ひとりが知識深め、チームで身体拘束について取り組むことが出来るようになる。	現在も行っているが、「身体的拘束等適正化検討委員会」での話し合い内容等の議事録の回覧の継続と今後計画している自主研修でより職員が身体拘束について理解できるよう、「身体拘束適正化のための研修」の受講に2名参加。自主研修に向けて知識の習得をしている。	3ヶ月
2	26	介護計画を作成するにあたり、ご本人、そのご家族へ意見や要望は事前にお伺いするが、担当者会議へは、参加できていない状況である。	担当者会議へご家族の参加を促し、目標の共有を行い、入居者ご本人がより良い生活が出来るように支援する。	アドバイスに合ったようにご家族の負担にならないよう、まずは、介護認定更新の際の担当者会議への参加からお声掛けした。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。